

継1 ～多文化共生社会の構築を推進する事業～

1. 多文化共生社会づくり推進事業



(1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

① 多文化共生オフィス運営事業「熊本市外国人総合相談プラザ」

令和元年9月、国際交流会館2階に「熊本市外国人総合相談プラザ」を新設し、外国人市民が抱える様々な課題（生活や教育、住民トラブル等）に応じる総合相談ワンストップセンターとして対応しました。専任コーディネーターが常駐し、より多くの多言語での相談対応を可能にするため、電話による3者通話システム及びビデオ通訳システムを導入しました。

- 対応言語（多言語相談員や、会館職員による対応可能言語）
英語、中国語、韓国語、タガログ語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ベトナム語
- 3者通訳システム（18言語に対応可能）
英語、中国語、韓国語、タガログ語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ベトナム語、タイ語、マレー語、ミャンマー語、インドネシア語、ネパール語、クメール語、モンゴル語、ロシア語、ポルトガル語、イタリア語
- ビデオ通訳システム（8言語対応）
英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語

また、各分野の専門家たちと協力連携を図り、様々な相談ニーズに対応しました。

相談分野	関係機関	相談件数(2019年度)
法律	熊本県弁護士会	4,035件
在留資格	熊本県行政士会	
居住	熊本市居住支援協議会	
就労	熊本労働局	
子どもの教育	教育支援専門家（民間団体）	

●多言語相談の種類多文化共生オフィス相談概要(無料)

多言語相談内容	対応日時間	
日本語、英語	常時	10:00～18:00
中国生活・教育相談	水・金・日曜	13:00～18:00
韓国生活相談	第4水、木曜	13:00～17:00
スペイン語	第1金曜	13:00～17:00
タガログ語	第2水曜	13:00～17:00
ベトナム語	第3水、日曜	13:00～17:00
出入国管理相談	第1水曜、第3日曜	13:00～15:00
法律相談（要予約）※	第3土曜	14:00～16:00
労働相談（就業者）※	第2火曜	13:00～17:00
おしごと相談（求職者）※	第2水曜	10:00～18:00
住まいの相談 ※	第3水曜	13:00～17:00

※外国人市民、または外国人市民と関係する方が対象

●熊本市国際交流員（C I R）による相談

言語	相談日時
中国	毎週火曜 13:00～17:00
ドイツ	毎週水曜 13:00～17:00
韓国	毎週木曜 13:00～17:00
英語	毎週金曜 13:00～17:00

●生活ガイダンスの実施（毎月第3水曜、第4土曜日）

来熊したばかりの外国人住民等を対象に熊本で生活する上で重要な生活情報等を提供する「生活ガイダンス」を開催しました。

日 時：令和2年1月16日（木）11:00～12:00

場 所：国際交流会館 2F外国人総合相談プラザ

参加人数：2人 ※2月以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

●市政だよりの多言語化（英語・中国語・韓国語）及びホームページへの掲載。

情報ボランティアを活用し、翻訳作業の効率化を図りました。

●あんしん・あんぜん 防災・生活情報eメールマガジン（外国人市民向け生活情報）

生活に関する情報を多言語（やさしい日本語、英語、中国語）で配信（毎月10日前後）しました。登録者数495人（英語261人、中国語80人、やさしい日本語154人）

② 多文化共生月間事業

2月を「くまもと多文化共生月間」とし、増加する在留外国人の推移をデータで紹介したパネル展示を開催しました。また、2階交流ラウンジに於いて「多文化サロン」として、イスラム教やイスラム圏の国々の文化・風習等を紹介する「イスラム・セミナー」、フランスのドキュメンタリー映画から多文化共生社会の在り方を考える「多文化共生を考えるワークショップ」を開催しました。尚、「多文化共生シンポジウムin熊本」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より開催を中止しました。

●イスラム・セミナー

日 時：令和2年2月8日（土）14:00～16:45

場 所：国際交流会館 2F交流ラウンジ

講 師：杉本サルマン氏、イマーム シラース氏（イスラミックセンター熊本）

内 容：イスラム教の教養内容とその文化の紹介

参加費：無料

参加人数：55人



●多文化共生を考えるワークショップ

日 時：令和2年2月15日（土）13:30～16:00

場 所：国際交流会館2F交流ラウンジ

講 師：赤星 亜朱香氏（JICAデスク熊本 国際協力推進員）

内 容：フランス・ドキュメンタリー映画「バベルの学校」から考える多文化共生社会について考えるワークショップ

参加費：無料

参加人数：15人

●多文化共生パネル展

テーマ：多文化共生パネル展

期 間：令和2年2月1日（土）～29日（土）

場 所：国際交流会館 1F エントランスロビー

内 容：熊本市の在住外国人の状況(人数、国籍、推移など)

や外国人市民の作品(英語で俳句、書道)、多文化

共生に関する活動紹介(外国人総合相談プラザ、

医療通訳ボランティア派遣事業、地域サポート事業、各種日本語教室、グローバル

サポーター事業など)の展示来場者数：約 500 人



●多文化共生シンポジウム in 熊本（※新型コロナウイルス感染対策の影響で中止）

同催事は中止しましたが、演者の毛受氏及び、各パネラーへ原稿を依頼し WEB 報告を作成し、事業団 HP へ掲載しました。

※開催を予定していた内容

日時：令和2年2月22日（土） 13：30～16：30

講師：毛受 敏浩氏（公益財団法人日本国際交流センター執行理事）

内容：第 1 部 基調講演

「未来への提案 外国人材の受入 労働力から地域の力への転換」

第 2 部 事例発表

発表①学生が考える多文化共生と日本語ボランティア

報告者：熊本県立大学 日本語研究室

発表②移住者と連携する全国フォーラム熊本 2020 開催に向けて

報告者：コムスタカ～外国人と共に生きる会～

代表 中島 眞一郎氏

発表③熊本市外国人総合相談プラザの活動

報告者：田辺 寿一郎氏、甲斐 利絵氏

③ 地域サポート事業（国際交流会館外での外国人市民へのサポート）

熊本市の各区保健子ども課や教育機関からの依頼に応じて、言語・文化通訳を行いました。また、外国人材を受け入れている企業への異文化理解講座の実施や外国人の個々の課題に応じ、その問題解決までを関係団体協力のもと実施しました。教育機関等からの要請に基づき、学校に通う外国ルーツの子どもたちの保護者に対し、学校での基本的な生活や年間行事についての説明、学校生活に関する相談対応の通訳を行いました。

相談件数：33 件

相談があった地域：東南アジア 12 件、東アジア 14 件、南アジア 7 件

	教育 相談	赤ちゃん 訪問	発育 療育	メンタ ルケア	就園 関係	生活	検診・ 予防接種	異文化 理解	その他	計
件数	8	6	5	3	3	3	2	2	1	33

④ 医療通訳ボランティア派遣制度

メディカルサポート熊本と協力し、医療通訳ボランティア養成講座を修了したボランティアを提携医療機関へ派遣しました。

提携医療機関：国立病院機構熊本医療センター、熊本大学付属病院、熊本赤十字病院、
福田病院、熊本中央病院、熊本機能病院、くまもと森都総合病院、
桜十字病院（8医療機関）

派遣件数：105件

登録人数：31人（英語18名、中国語9名、韓国語4名）

●医療通訳ボランティアスキルアップ研修

現在医療通訳ボランティアに登録している方に対し、在住外国人の協力をもとにデモンストレーションやロールプレイで実践的な研修を行うとともに、実際に活動をされた方からの報告をしてもらうことで登録者のモチベーションのアップを図れるようなスキルアップ研修を行いました。また、研修後には、日赤和歌山医療センター益田医師による講演を行い、レバノン・パレスチナ難民の医療支援で活動されたときの現地の様子や発見、課題などのお話を伺いました。

日 時：令和元年10月5日（土）13：00～16：30

参加人数：13人（益田充氏によるレバノン報告17人）

協 力 者：益田 充氏（日赤和歌山医療センター）

最相 博子氏（メディカルサポートセンター
くまもと）



(2) 日本語支援事業

① 暮らしのにほんごくらぶ

在住外国人が熊本で生活する上で必要な日本語を習得できるよう、日本語会話や日本の生活習慣を学ぶ「暮らしのにほんごくらぶ」を行いました。日本語学習をサポートするボランティア（生活日本語ボランティア）と、学習を行うと共に、日本文化体験や交流会などを実施しました。

活動日：毎週 火曜日10:00～12:00

水曜日10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:00

日曜日10:00～12:00、14:00～16:00

※新型コロナウイルスのため2月23日以降の教室は全て中止。

参加学習者数：延べ4,283人

ボランティア数：延べ3,340人

場 所：国際交流会館2F ミーティングルーム・交流ラ
ウンジ



交流会（対象：学習者とボランティア）

●月見団子づくり

日 時：令和元年9月8日（日）13:00～15:30

場 所：国際交流会館 4F 第3会議室

参加人数：61人

●年末交流会

日 時：令和元年12月22日（日）10:00～15:30

場 所：国際交流会館 4F 第3会議室

参加人数：127人



●茶道体験（初茶会）

日 時：令和2年1月8日（水） 10:00～16:00

場 所：国際交流会館 5F 茶道室

参加人数：50 人

●書道体験（書き初め）

日 時：令和2年1月19日（日） 14:00～16:00

場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ

講 師：サポートセンターボランティア

参加人数：15 人



※お花見交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

② 初級日本語講座「はじめてのにほんご」

日本語を学んだことのない在住外国人や来日したばかりの外国人を対象にし、日本語の基礎文型や文法をプロの日本語教師から授業形式で学ぶ講座を実施しました。

日 程：

第1回（9～10月コース）令和元年9月2日（月）～10月25日（金）

第2回（11～1月コース）令和元年11月1日（金）～令和2年1月24日（金）

第3回（2～3月コース）令和2年2月3日（月）～2月21日（金）

※3月以降は、新型コロナウイルスのため中止しました。

※上記期間中の月木金で、計 22 日実施。（月曜日が休館日の日はお休み）

時 間：午前9時半～11 時半（2時間）

講 師：日本語教師（大学講師、外国ルーツの子ども支援ネットなど）

参加人数：合計 20 人（第1回：7人、第2回：4人、第3回：9人）

③ 日本語能力試験学習教室「JLPTの日本語教室」

日本語能力試験の学習を希望する参加者の増加にともない、日本語能力試験を中心に勉強する教室を開催しました。

※新型コロナウイルスのため2月23日（日）以降の教室は全て中止しました。

日 程：令和元年7月～11月、令和2年2月9日～23日の毎週日曜日

時 間：9:30～11:30

講 師：日本語教師有資格者

参加人数：延べ 414 人



④ 生活日本語支援ボランティア研修会

1) 令和元年 9 月 3 日（火） 13:30～15:30

内 容：対話活動のススメ

講 師：岩田一成氏（聖心女子大学）

場 所：熊本市国際交流会館2F ラウンジ

参加人数：生活日本語ボランティア 48 人

2) 令和元年 11 月 10 日（日） 13:30～15:30

内 容：地域日本語教室とは？ / 聞き上手になろう！（グループワーク）

講 師：道本ゆう子氏（日本語教師、地域日本語教育コーディネーター）

場 所：熊本市国際交流会館2F ラウンジ

参加人数：生活日本語ボランティア 46 人

⑤ 地域日本語教室

子育てや交通機関の状況等で国際交流会館への来館が困難な外国人市民を対象に、各区域で交流型の日本語教室を開催しました。

※新型コロナウイルスのため2月23日以降の教室は全て中止しました。

【武蔵ヶ丘教室】

開催日：毎週火曜日 10:00～11:30

場 所：菊陽町西部町民センター

支援者：生活日本語ボランティア

学習者：延べ219人（協力ボランティア 延べ141人）

【健軍教室】

開催日：第2週以外の毎週火曜日10:00～11:30

場 所：よって館ね（健軍商店街ピアクレス内）

支援者：生活日本語ボランティア

学習者：延べ72人（協力ボランティア数 延べ62人）

【東区教室】

開催日：毎月第1・第3日曜日 10:00～11:30

場 所：東部公民館

支援者：日本語交流サポーター

学習者：延べ67人（協力ボランティア数 延べ79人）

【西区教室】

開催日：毎月第2・第4土曜日 13:30～15:00

場 所：田崎市場 市場会館

支援者：日本語交流サポーター

学習者：延べ135人（協力ボランティア数 延べ123人）



⑥ 熊本県立大学との連携事業

日本語教育研究室との地域連携型卒業研究として、日本語教室で活動するボランティアについて調査し、その結果を基に「日本語ボランティア向けガイドブック」を作成しました。完成したガイドブックは、オンラインで手軽に閲覧できるようにしました。

⑦ 外国人労働者の為のJLPTクラス（受託事業）

熊本市に事業所や支店を有する事業所及び団体で働く外国人労働者の日本語能力を向上させ、事業所内での円滑なコミュニケーションの一助とするため、「外国人労働者への日本語指導支援（集団レッスン型）」を実施しました。

実施日：土曜日 令和2年2月1日（土）8日（土）・15日（土）・22日（土）

9:30～11:00、11:10～12:40 各90分

日曜日 令和2年2月9日（日）・16日（日）・23日（日）

9:30～11:30 120分

※3月は、新型コロナウイルス感染防止の観点により開催を中止しました。

参加人数：27人

受講料：無料

場 所：熊本市国際交流会館 2階ミーティング室及び交流ラウンジ、会議室等

(3) 「外国人のため」の防災事業

① 外国人市民を対象にした防災・避難訓練

防災体験設備を有する熊本市広域防災センター（熊本市中央消防署）に赴き、地震体験、台風体験や火災体験（煙体験）や防災講話やAED研修等を通して、日頃からの防災意識向上を図りました。

日 時：令和元年11月3日（日）10:00～12:00

開催場所：熊本市広域防災センター
（熊本市中央消防署内）

参加人数：13人



② 災害時多言語サポーター養成講座募集説明会・研修会の実施

大規模災害発生時に、外国人被災者への適切な情報提供及び地域における外国人被災者の情報収集を行い、情報の集約・発信に貢献し、市民と外国人市民を繋ぐことができる災害時外国人支援多言語サポーター養成講座を開催しました。

期 間：①令和元年7月6日（土）、13日（土）、20日（土）全3回 13:30～17:00

対 象：どなたでも

内 容：①多言語翻訳スキルアップ研修

②外国人被災者体験談及びやさしい日本語概論

③熊本地震や他の大規模災害等での災害ボランティア活動事例、避難所ワークショップ・情報優先順位付け訓練等

講 師：①カーク マスデン氏（熊本学園大学准教授）

② 道本 ゆう子氏（日本語教師、地域日本語教育コーディネーター）

③ 高木 和彦氏（多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事）

参加人数：7人

※令和2年3月にステップアップ研修を予定しましたが新型コロナウイルス感染防止の為に中止しました。



③ 災害時外国人支援システム K-SAFEの運用

災害初期段階で外国人市民だけではなく、国外旅行者など短期滞在者にも迅速に多言語情報の発信、外国人被災者の安否確認が効率的かつ的確に実施できるK-SAFE災害メール配信システムの運用・管理を行いました。

登録人数：455人

災害情報メール配信件数：15件

（内訳） 台風情報8件、避難所情報4件、大雨情報2件、暴風情報1件
その他、毎月10日に生活情報メール定期配信しました。

(4) 外国ルーツの子どもの支援事業

国際結婚や呼び寄せ等外国ルーツの子どもたちの増加に対応し、民間の支援団体（熊本外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会、NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと）と協力連携しサポートしました。

① 進路ガイダンス

帰国者の呼び寄せや、親の国際結婚などで来日した外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者を対象に、日本の教育システムや高校受験の際の特別措置・配慮などについて詳しく説明をする進路ガイダンスを実施しました。

日 時：令和元年7月7日（日）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 4F第3会議室

参加人数：76人

（中学生15人、小学生2人、保護者17人、中学校の先生19人、高校の先生3人、通訳8人、高校生7人、大学生2人、熊本県教育委員会1人、熊本県人権教育研究協議会2人）

関係者：25人（外国から来た子ども支援ネット8人、スタッフ17人）

参加費：無料

② 外国籍児童のための教育サポート

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童生徒に対し、高校生及び支援者が集まり、日本語、教科学習指導や生活相談等を行う「おるがったステーション」を国際交流会館において開催しました。

おるがったステーション

日 時：毎週日曜10:00～12:00（中学生対象）、14:00～16:00（小学生対象）

場 所：国際交流会館5F和室など

参加人数：延べ317人

（中国、シンガポール、アメリカ、フィリピン、スリランカ、韓国等）

③ 熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会事業

「熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会」の構成団体として、外国ルーツの子どもたちを取り巻く状況についての研修会及び勉強会を実施しました。

④ 連携事業

熊本市立黒髪小学校日本語センター校開校式に参加し、日本語教室や多言語相談窓口の紹介を行った。閉校式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

●黒髪小学校日本語センター校開校式 令和元年5月7日（火）15:30～16:30